

# 平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	電気自動車借上事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	環境政策・放射能対策課			
施策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造		主管課長	染谷 忠美			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市公用車	意図	地球温暖化の防止
事業内容	市公用車として率先的に電気自動車を導入し、その環境性能や利便性をPRすることにより多くの市民・事業者を啓発し地球温暖化防止に寄与するもの。（長期継続契約 平成22年9月1日から平成27年8月31日まで。平成27年9月1日から平成28年8月31日まで単年度契約）			
事業開始から現在までの状況変化	平成22年3月に「ストップ温暖化！流山市役所率先実行計画」を策定し、その中で市公用車については「更新にあたっては、電気自動車、ハイブリッド自動車、天然ガス自動車とする」と規定した。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	リース台数	1	1	1	
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							<p>目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）</p> <p>日頃の現場作業（主に放射線量モニタリング調査、パトロール等）において電気自動車を使用している。また、毎年行われるクリーンセンター施設見学において児童に電気自動車の説明・試乗を行い、啓発を行っている。導入効果として、従来のガソリンタイプの軽自動車と燃料代金・CO2排出量を平成27年度実績と比較したものは次のとおり。</p> <p>【燃料代金：32,713円⇔107,012円で約69%の削減】 【CO2排出量(kg-CO2)：1,089⇔1,700で約36%の削減】</p>
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,593,274	1,164,300	1,304,337			
事業費(b)(円)		1,174,054	749,700	852,537			
うち一般財源		1,174,054	749,700	852,537			
職員給与費(c)(円)		419,220	414,600	451,800			
人役・職員(人)		0.06	0.06	0.06			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	日常的に有効活用を図り、イベントで啓発活動を行うとともに効果について啓発する。	③取組の課題	現在の電気自動車のリース期間が満了となることから、今後のエコカーの位置づけを検討する必要がある。
②今年度(H27)に実施した取組	日常的に活用するほか、クリーンセンター見学会やグリーンフェスティバルで電気自動車の展示などにより啓発を行った。	④今後の改善計画	平成28年度の契約については入札を検討する。